

～ サポーターのこころを結ぶ ～

認知症サポーターキャラバン情報紙

VOL.6



地域のサロン活動（藤ノ木校区のミニデイサービス）

2011. January Vol.6 Contents

- 株式会社イコールの取り組み P2
- 藤ノ木校区社会福祉協議会の取り組み P3
- 認知症・草の根ネットワーク 講座のご案内 P4
- 認知症サポーター養成講座受講状況等 P4



北 九 州 市
北九州市社会福祉協議会

— 認知症サポーター養成講座 —

地域密着へ、自ら進んですぐ行動！

株式会社 イコール

株式会社イコール（代表取締役 濱根宗司）は、小倉南区に事務所を置き、1969年創業、社員7名、委託販売員30名、お手伝いサービス員20名で、主にダスキン関連の事業を営む事業所です。

ダストコントロール事業（委託販売員によるモップ等の掃除道具レンタル販売）、ホームインステッド事業（お手伝いサービス員による介護保険適用外の高齢者向け家事援助、身体介護サービス）を中心に活動しています。

■ お客様のために、自分のために！

12月に開催された認知症サポーター養成講座の受講者は、委託販売員30名です。

ダスキン本部からの案内が認知症サポーター養成講座を知るきっかけとなり、スタッフが業務中に認知症の人と出会ったときや、高齢社会に伴うお客様の高年齢化が予測されるため、また、スタッフ自身や家族のためにもなるという視点から、講座の開催はスタッフに必要な要素であると濱根社長は考え、開催することとなりました。

受講した委託販売員からは、「様々な事例を聞いて、状況に応じた対応を学ぶことができた。講座をきっかけに、認知症に対する知識が深まった。家族や知人、お客様が認知症になったとき、理解できる人になりたい。」という声があがっています。



認知症サポーター養成講座 受講風景

また、講座で学ぶ「認知症の人への対応」の中で、「ゆっくりはっきりとした濁舌で話す」「相手に目線を合わせてやさしい口調で話す」などは、認知症の人に限らず、お客様全てに対応することであり、これらの学んだことを業務中に活かしていきたいとのことでした。

■ 地域密着企業を目指して！

今後は、「認知症サポーターのいる店・事業所」ステッカーを貼ることや、お手伝いサービス員を対象とした講座の開催や、スタッフの家族、知人、地域の人々やお客様に講座を案内し、事業所で開催して、認知症サポーターを広め、地域密着の企業を目指していきます。



ホームインステッドにおける高齢者の見守り、付き添い

「認知症サポーターのいる店・事業所」ステッカー

この「認知症サポーターのいる店・事業所」ステッカーは、認知症サポーターキャラバン事務局が実施する「認知症サポーター養成講座」受講店・事業所等に貼っていただき、認知症にやさしい街づくりに役立てていただいています。

あなたのお店や事業所でも、企業の社会貢献や社員教育の一環として、受講されてはいかがでしょうか。



(15 cm × 15 cm)

＜お問い合わせ先＞ 「認知症サポーターキャラバン事務局」まで

地域住民全員で 見守り、支え合うまちづくり

藤ノ木校区社会福祉協議会

認知症知識の学びから、
地域を支えよう！

藤ノ木校区社協 会長 徳田 實



藤ノ木校区は、総世帯数3,842世帯、人口6,954人、若松区東南部に位置し、北側は石峰山、南側は洞海湾に囲まれた地域です。

藤ノ木校区社協（徳田實会長）では、ふれあいネットワーク事業の中で、ボランティアグループ「ユーカーの会」によるミニデイサービスを月に2回、市民センターで取り組んでいます。福祉協力員からお誘いを受けた校区の高齢者のみなさんが元気よく参加して、交流を深めています。

■ 地域住民全員に講座を！

11月に開催された「認知症サポーター養成講座」には、校区の役員、福祉協力員、民生委員、地域住民のみなさんが参加しました。

徳田会長が以前、北九州市内においてこの講座を受講したことがきっかけとなり、藤ノ木校区の住民に認知症の知識を学び、支えあうことの大切さを伝えたいという思いから、校区社協での講座の開催が決定しました。

受講した参加者からは、「自分の家族が認知症になったとき、身内や近所の人々



認知症サポーター養成講座 受講風景

等に理解してもらうことは大変だと実感した。早期診断・早期治療を大事にして、地域の人々と一緒に気をつけていきたい。もう一度講座を受講したい。」といった声がありました。

また「認知症に関する知識は、自分自身のためではなく、友人やご近所にも関係があると聞き、感心した。受講した参加者の声から、講座の開催をして良かったと思った。地域住民全員が受講できるよう講座を開催していきたい。」と徳田会長も語っていました。

■ みんなで支えるまちづくり！

受講後には、今回の認知症サポーター養成講座の開催をきっかけとして、福祉協力員による研修を開催しました。

藤ノ木校区では、独居高齢者が532名います。しかし、福祉協力員は42名、福祉協力員1人あたりの担当は10人以上であり、負担が多いのが現状です。

藤ノ木校区では、認知症サポーター養成講座開催への取り組みをきっかけに、地域の活動者の育成および地域住民ひとりひとりが周囲の人を気かけ、地域全体でお互いを見守り、助け合う、まちづくりを目指していきます。



ミニデイサービスにおける昼食会で、ふれあい交流会

もっと認知症について知りたい！介護施設に行ってみよう！ 「認知症を知る講座」～認知症・草の根ネットワーク～

「認知症・草の根ネットワーク」は、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの視点に立ち、認知症の理解の普及に関連する事業等を行い、社会全体の利益を増進することを目的に北九州市内で活動している団体です。

認知症についてより深く学びたい方のために、「認知症を知る講座」の出前講演を実施しています。10人以上の参加者で出前講演しますので、ご連絡ください。

＜問い合わせ先＞ 認知症・草の根ネットワーク事務局
〒802-0833 小倉南区上石田2-21-23 田代方
TEL: 090-7159-1133



認知症を知る講座（計6回・各回約2時間）

- ① まちづくり・ひとづくりと認知症
- ② 介護の場面で起こること・具体的な対応
- ③ 疾患としての認知症
- ④ 介護に関する言葉と制度を知ろう・回想体験をしてみよう
- ⑤ 認知症を進めないために お口の問題は要チェック！（予定）
薬・薬剤師さんとの付き合い方を考えよう！（予定）
- ⑥ 人間の尊厳と傾聴「ふつう」ということ・まちづくりと居場所づくり

その他に、上記の講座修了者に限り、上級コースとして「介護施設に行ってみよう！」「これからの医・食・住を考える」があります！！

北九州市の認知症サポーター 25,281人（H22. 12月末現在）

最近の「認知症サポーター養成講座」受講団体

- 中学校（沼、引野） ● 新日鐵八幡記念看護専門学校 ● 九州女子大学 栄養学科
- 健和看護学院 ● ヒューマンケアライフわかと ● ヘルパーステーションひまわり
- 老人クラブ 城田クラブ ● 第一三共株式会社 ● 麻生医療福祉&観光カレッジ
- 校（地）区社会福祉協議会（田ノ浦、花房、大蔵第三、前田第四、鳴水、鞘ヶ谷、南沢見）

認知症サポーター養成講座を広める「社会福祉協議会」



社会福祉協議会は、
「みんなが安心して暮らせる支えあいのまちづくり」
を目指し、地域福祉の理解を広めています。

高齢者、障害のある人、子ども、地域で暮らしている一人ひとりのだれもが、住み慣れたまちで穏やかに暮らしていくためには、日常生活上の問題解決に向けて動き出せるよう、同じ地域に暮らす者として共感し、さまざまな問題や課題を分かち合う地域づくりを行うことが必要です。

そのために、北九州市社会福祉協議会は、地域福祉に対する理解を深めるとともに、一人でも多くの市民が、福祉に関心を高めることができる取り組みの一つとして、北九州市より「認知症サポーターキャラバン事業」を受託し、福祉の風土づくりを進めています。

この情報紙は、認知症サポーターの活動や活動機会の紹介を主な目的としております。

活動事例等の情報がありましたら、ぜひ、お寄せください！！

なお、過去の情報紙は「北九州市社会福祉協議会」のホームページに掲載しております。

北九州市認知症サポーターキャラバン事務局 （運営：社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会）

〒804-0067 北九州市 戸畑区 汐井町1番6号 ウェルとばた8F
担当：福祉部 地域福祉課 TEL. 093-873-1296 FAX. 093-873-1351